

ひと たす ひと ひと なに けっ かんたん
人を助ける、人のために 何かを するという事は、決して簡単なこ
とではありません。でも、私は去年、そうすることの 大切さを学びまし
た。それは 学校のコミュニティーサービスで、モルティーキャップに行っ
た時のことです。モルティーキャップは、体 が不自由な人や
知的障害者を持っている人などを 介護する施設です。このボランティ
ア活動は 私 にとって たいへん 貴重な経験と なりました。

せきどうちよっか げんち ひとびと いるょう み
赤道直下のアフリカで、現地の人々のための医療に 身をささげた アルベ
ルト・シュバイツァーは、本の中でこのように買っています。

「人のために働ける人は幸せです、なぜなら、自分をもっと豊かにできるか
らです。」

ひとびと
私は、人々の 痛みが わかり、かんじゃさんの ことを 自分の かぞ
くのように おもえ、そして たくさんの 人々の 病気をなおせる
立派な医者になりたくて、心から思っています。